

オール北海道ポリオ根絶キャンペーンの報告

札幌手稲ロータリークラブ 国際奉仕委員長 福尾実

10月24日月曜日三角山放送局にてポリオ根絶キャンペーンのラジオ番組を行いました。当日は30分の番組を午前10時と午後15時半に行いました。午前10時の担当は平川会長と宮坂会長エレクト、午後15時半の担当は平川会長と福尾でした。

この企画は、2510地区の石丸修太郎ガバナーと2500地区の久木佐知子ガバナーとの話し合いで決まった合同企画で、全道一斉に地元ラジオ放送局でロータリーのポリオ根絶活動の広報を行うというものです。事前に地区のポリオプラス委員会から台本を頂いており、平川会長が台本の内容を噛み砕いてわかりやすくしていただき、

10月18日に三角山放送局にて事前打ち合わせをするなど、準備万端で挑みました。放送当日は、30分ほど前に集合して事前打ち合わせを軽く済ませ本番に備えました。放送は三角山放送局の杉澤洋輝社長の軽快なトークから始まり「札幌手稲ロータリークラブ提供、オール北海道ポリオ根絶キャンペーン」の番組名が読み上げられると平川会長と宮坂会長エレクトが紹介され、台本通りトークが始まっていきました。ロータリークラブ及び札幌手稲ロータリークラブはどういう団体か・どういった活動をしているのか、ポリオとは・ポリオ根絶の取り組み・今後の継続への理解など、30分間の番組の中で以上のことを話しました。他には、今年度の国際ロータリーの会長テーマのイマジンロータリーに合わせてジョンレノンのイマジンを途中で流したり、自分達でポリオの歴史について学んだことを合間に挟んで話したりしたことで、結果として30分間を超えて番組をさせて頂きました。三角山放送局の杉澤社長も内心はわかりませんが、快く対応して下さいました。杉澤社長、この場を借りてお礼いたします。ありがとうございました。

以上のようなことで、午前・午後の番組を終えて、一人でも多くポリオのことやロータリークラブの活動などを知ってもらい広い視点で物事を見ていただければ、少しはお役に立てたのかなと思います。最後になりますが、抜け目のない札幌手稲ロータリークラブの平川会長と大塚幹事は、三角山放送局さんの勧誘を行い入会届をお渡しして徹頭徹尾完璧な仕事をこなしておりました。皆さまお疲れ様でございました。